



# SESERAGI-MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2010～2011年度 RI会長 レイ・クリンギンスミス

RIテーマ BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS 地域を育み、大陸をつなぐ

クラブテーマ 「親睦をもっと深め、心の奉仕を行動で示そう」 会長 西原克甫

副会長 渡邊照芳 幹事 内田憲一

## 第1026回 例会 2010.12.03 (金) 晴

司会:土屋 巧君 指揮:久保栄子君

ロータリーソング 「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F

TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 ブケ東海三島

TEL. 055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

### 会長挨拶

#### せせらぎ三島ロータリークラブ

会長 西原克甫君

こんばんは、初めにロータリー活動からご報告いたします。11/16金曜日米山奨学生のエサ・ラディティア君が沼津ロータリークラブで卓話をしてくださいました。小林勝ロータリー奉仕委員長が世話役として同席戴きました。お忙しい中ありがとうございます。



ミセスアモーレから次のように連絡がまいっております。

12月17日金曜日 午前10時～ 函南町 間宮幼稚園

12月19日日曜日 午後2時～ 沼津市 ふれあいレジデンス大岡

の二日間奉仕活動の予定だそうです。お時間のある方は、参加して下さい。宜しくお願い致します。

ロータリー情報をお知らせ致します。

地区より、2012-2013年度派遣 ロータリー財団国際親善奨学生募集の連絡が来ております。国際親善奨学金は、財団が提供する世界で最も規模の大きい国際的な奨学金プログラムの1つです。奨学生は、外国へ留学するかたわら、非公式の親善大使としての役割を果たします。1947年以来、110カ国から47,000人以上の学生に、ロータリー財団を通じて奨学金が授与され、その総額は4億7,600万ドルを上回っております。

応募受付 2010年12月頃より各クラブで受付

応募締切 2011年3月15日

話は変わりますが、みなさんには、関係ないお話ですが、話題として聞いて下さい。地面に落した食べ物は、3秒以内なら食べられる?????

飲み会などの席で、うっかり落としてしまった食材を、すばやく拾い上げて「3秒以内だからセーフ!」などと言って口の中に放り込む。・・・そんな人、たまに見かけることがある。これはいわゆる「3秒ルール」と呼ばれているもので、つまりは食べ物を落としても3秒以内であれば、「なかったこと」にして食べちゃってOKという、一種のジョークみたいなものだそうです。このルール、誰が言い出したのかは不明だが、全国的

に浸透しているのが面白い。地域によっては「5秒ルール」だったり多少のばらつきもあるようだが、だいたい「3秒」で統一されているみたいです。けど、3秒の根拠って何だろう? 不思議に思って調べてみたところ、なんと、「3秒ルール」を大真面目に研究したデータがアメリカに存在することが判明したそうです。今回はこの論文をひもとくことで、都市伝説の真相を探ってみます。

論文は2003年に米イリノイ大学で、当時高校3年生だったジリアン・クラーク氏主導で行われた実験によると。クラーク氏は大腸菌をまいた床に、グミキャンデーやクッキーを放置し、経過時間ごとの菌の付着状況を顕微鏡でチェックしたそうです。ちなみにアメリカでは「5秒ルール」が主流なのだそうです。実験は環境条件を様々入れ替えながらも実施されたそうです。果たして、床の形状や食材の種類に関わらず、5秒以下の短時間であっても相当量の菌の付着が認められ、このルールが大間違いであることがあらためて実証されたそうです。なお、この調査では、乾いた床には細菌そのものがあまり存在しておらず、落とした食品を口にしてもそれなりに安全であることも突き止められた。しかし床の雑菌状況などいちいち調べられるものではないから、やはり落ちた食材を口にするのは控えた方がよさそうです。

ともあれ、世界の「3秒ルール」に一応の決着を付けたこの実験には、2004年イグノーベル賞が授与されているそうです。検証してみれば、「拾い食いはやっぱり危険」という、至極当たり前の結論に至ったこの都市伝説。あえて真っ向から研究に挑んだ若き研究者は、公衆衛生の歴史に貴重な足跡を残したと言えるのでは????!!!

みなさんも当たり前のことを研究するのもよいかもかもしれませんね。????????????????

### 出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メーカーアップ	修正出席率
前々回	25/34	73.53%	31/34	91.18%
今回	24/32	71.88%	会員総数	36名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

遠藤君、大房君、加藤君、兼子君、望月君、山田君、山本(良)君、米山君、山口(雅)君

幹事 内田憲一君

1. 四クラブ合同新年会の連絡が来ております  
 1月6日 木曜日 6時受付 6時半点鐘  
 プラザホテル 2階 会費8000円  
 出席は親睦委員会で取らせていただきます。

おめでとう

会員誕生日 11月27日 野中信行君  
 11月28日 久保栄子君

 スマイルボックス

矢岸貞夫君:西クラブとのゴルフ対抗戦ご苦労様でした。今回は頑張って勝つ事ができました。これで2勝2敗です。来年も行なう予定ですので宜しくお願いいたします。  
 岡 良森君:先日の西クラブとの対抗戦、せせらぎ内の成績で準優勝できました。ありがとうございました。  
 野中信行君:久しぶりです。  
 内田憲一君:すみません。早退します。そのまま3階に移ります。  
 小林 勝君:所用の為早退させていただきます。  
 久保栄子君:すみません。早退させていただきます。  
 新井 香君:先日の対抗ゴルフコンペに欠席して申し訳ありません。実力はありませんからグロスの計算ではダメですが、ツキだけはあるので新ペリアでは充分お役に立てると思っていたのに残念です。でも「せせらぎ」が勝ったと聞いてホッとしています。

地区大会報告

奉仕プロジェクト委員会 太田政人君

朝7時過ぎに三島をバスにて出発し2時間ほど揺られて浜松に到着、また長時間に亘る椅子での姿勢は腰痛持ちの私には少々辛い思いをしましたが、安平和彦RI会長代理や川勝平太静岡県知事のお話はすばらしく、それを忘れてしまうほどでした。地区大会はロータリーの一体感を共有するには非常に重要であるとあらためて認識いたしました。ただし、運営やコストで見直し少々の見直しが必要ではないかと思いました。

ロータリー財団委員会 小林 勝君

11月14日に浜松で地区大会が行われロータリー財団委員会として参加してきました。大きなテレビスクリーンが4個もあり山口元幹事がおっしゃるにはカメラはテレビ局の放送用の物を使っているそうです。会場費も含めいったいどの位費用がかかっているのか！前週にポリオ撲滅の募金募集をイトーヨーカ堂でおこなっておりちょっと複雑な思いがしました。昼休み中 山田副幹事と山口元幹事とでロータリーの未来について熱く語りあえて大変有意義な一日でした。

ピンチヒッターで出かけた地区大会でした。同級生で年2回開催しているゴルフコンペを断っての参加です。何か得るものはないかと真剣？に出席しました。正直何回も参加していますがいつも同じパターンです。今後も同じことが続くのかと思うと、どうなの？と考えてしまいます。一つの経済活動の一環、と考えればいいのでしょうか？地区協議会はいろいろな委員会の行動方針が解説され、我々の行動の指針にはなりますが、地区大会はどなたかが仰っていましたが“お祭り”みたいなもんだと。今回、GSEで来日し、我がクラブメンバーの山口雅弘君の家にホームステイしたMs. Brianneたちも参加すると聞いていました。たしかにお見えになっていたようなのですが再会することはできませんでした。せせらぎ三島での歓迎会のとき少し話しをしたので、彼女のブログの感想なども含めてあらためて話したかったのですが、かないませんでした。ざんねん。

服部光弥君

初めて参加させていただき、感じたことを率直？にご報告させていただきます。

まず、12号案件ある決議事項において次年度地区大会が沼津にて開催されることが決まり、またガバナーエレクトの紹介がありました。沼津RCの積ガバナーエレクト（74歳）は25年前の1985年にRC入会し、当時の安倍ガバナーからRCバッジを授与できたことを仰ってましたが、今年の2月14日のIM時に飯田ガバナーからバッジを頂いた私も頑張れば、25年後の2035年に「服部ガバナーエレクト」誕生も無理ではない・・・？？

またガバナーノミニーに決定した甲府RCの高野ガバナーノミニー（54歳！）は22年前の1988年にRC入会して・・・ということは・・・22年後の2032年に「服部ガバナーノミニー」誕生も可能・・・？？・・・なんてことは冗談として、国際RC現況報告で会員数は@120万人だそうです。地球の人口が推計で@69億人とすると「69億人÷120万人=5750人」！！感慨深いと思いませんか。

伊豆中央ロータリークラブ45周年記念例会

渡邊照芳君

11月28日に西原会長、内田幹事の代理で大房パスト会長と私2人で、会場長岡サンバレー富士見に行ってきました。来賓の第2620地区中山正邦ガバナー他、タイのトンプリRC、京都乙訓RC、相模原西RC、第2分区6クラブの会長幹事と、会員家族合計約100名の出席者で盛大に行なわれました。アトラクションにはマグロの解体ショーほか盛りだくさんの催しがあり、楽しいひとときを過ごす事が出来ました。

## 第8回タイ放置自転車贈呈事業

国際奉仕委員長 根津延和君

平成22年11月20日午前3時30分三島を車で出発しました。今回参加者は、西原克甫会長、野中信行顧問、矢岸貞夫国際奉仕委員、服部光弥、片野誠一、根津延和国際奉仕委員長の6名です。片野さんは先にタイに出発、5名と一緒に車で成田に向かいました。今回、河口湖RCとの共同事業でしたので、成田空港で朝食を取りながら出発前のミーティングをしました。バンコクについてからは夜ソープンで晩餐会を開催しました。

11月21日夜はタイのお祭りのロイクラートン(灯籠流し)がチャオプラヤ川で行われ、2012年のRC国際大会の会長になるシーロムRCの地区ガバナーエレクト・スポン氏のマンションの共同ガーデンで行われたパーティーに参加しました。11月22日午前3時30分、モーニングコールで起床し、6時10分の国内便の飛行機でウボンラタチャニー空港に向かい、7時15分到着後、アムナートチャルーンRC迎いの2階建てバスで朝食を取るためレストランに寄りました。その後、自転車贈呈式が行われるミングモンゴール公園に向かいました。自転車贈呈式典は10時に開始となり、アムナートチャルーン県知事及び副県知事、市長、警察署長、地区ガバナーが列席し開催されました。式典の様子はタイの全国ネットのテレビ、3チャンネルで夜のゴールデンタイム、20時に全国ニュースで紹介されました。今回でスリウォンRCとしては82回目の贈呈式と言うことですが、全国ニュースで紹介されたのは初めてと言うことでした。式典終了後はファイキッドホテルで昼食となりましたが、ここでアムナートチャルーンRCと友好クラブの調印をしました。その後タイ式マッサージを堪能し、バンコクへの便が夜遅いため、SMILEレストランで夕食、バンコクに戻ったのは23時でした。11月23日夜、バンコクスリウォンRCの夜間例会に出席し、終了後河口湖RCのメンバーと日本食の店で打ち上げを遅くまでして、今回の贈呈事業は終了となりました。内容盛りだくさんで忙しい毎日でした。



## PHOTO GALLERY



自転車贈呈感謝状



友好クラブ調印

